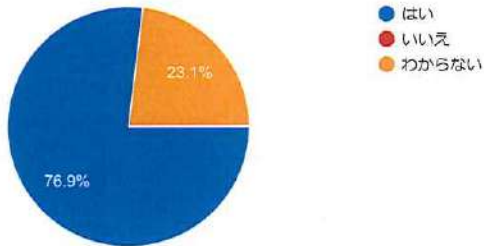
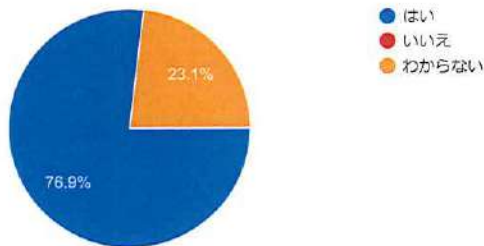


令和 3年度 放課後等デイサービス評価表（保護者向け）岸根店

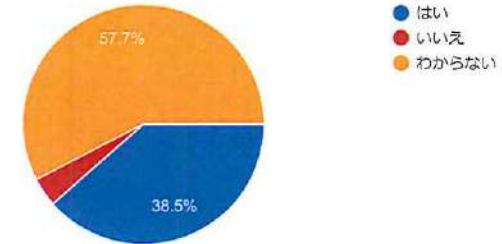
子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか



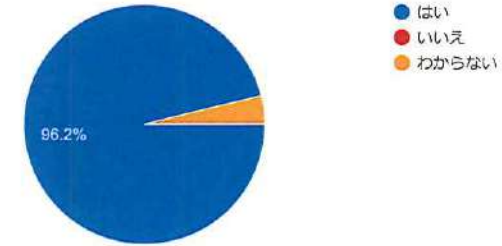
職員の配置数や専門性は適切であるか



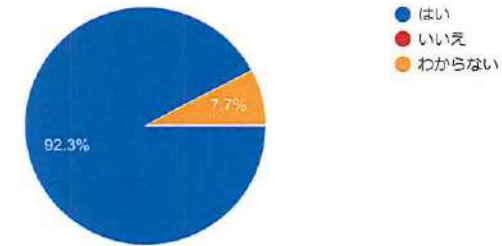
事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか



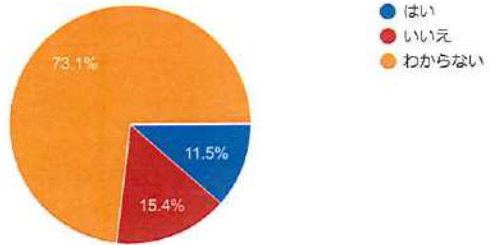
子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか



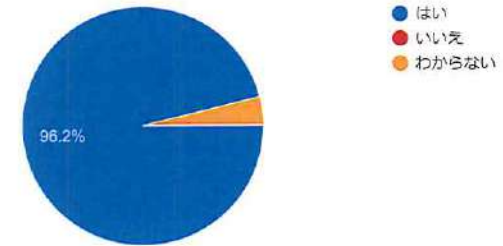
活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか



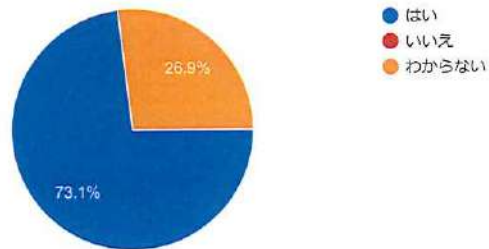
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか



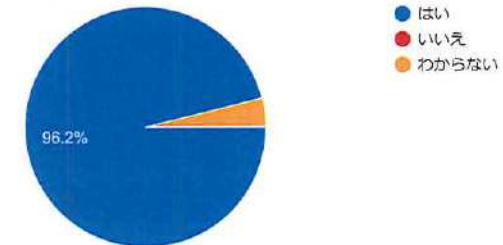
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか



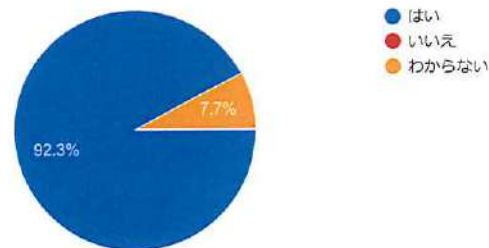
事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか



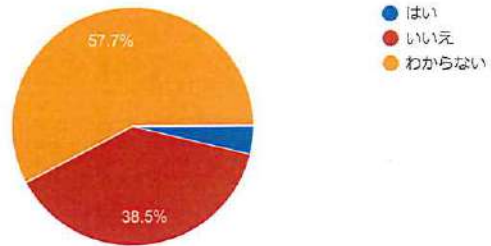
保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか



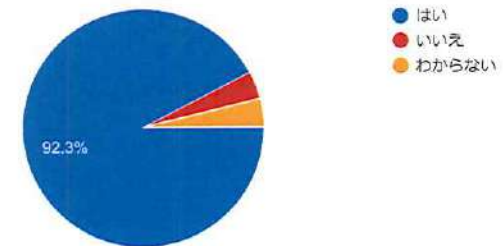
支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされた



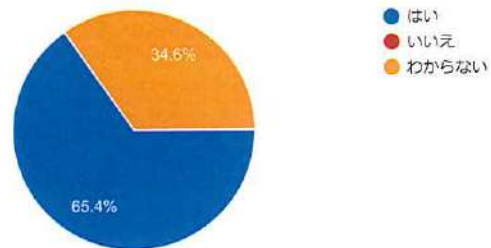
父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか



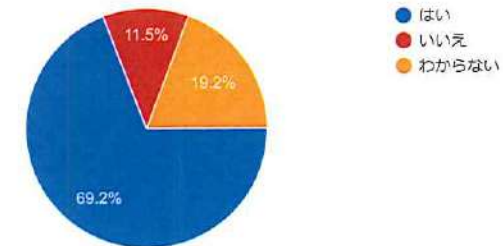
子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか



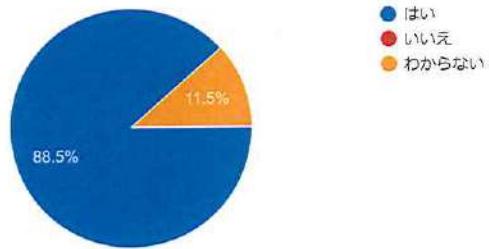
子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



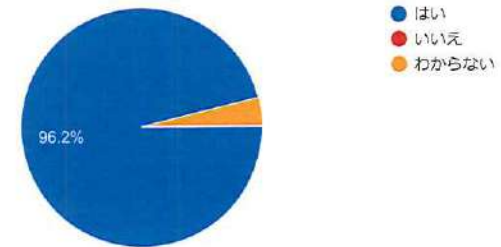
定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか



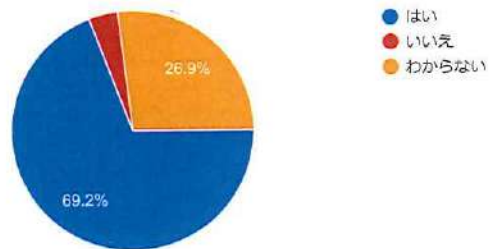
個人情報に十分注意しているか



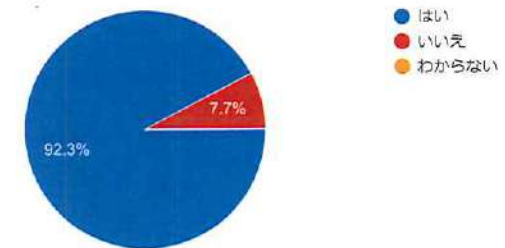
子どもは通所を楽しみにしているか



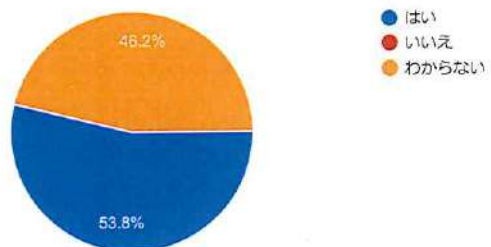
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか



事業所の支援に満足しているか



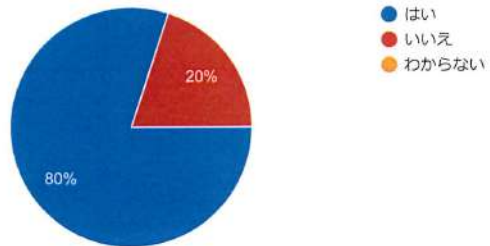
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか



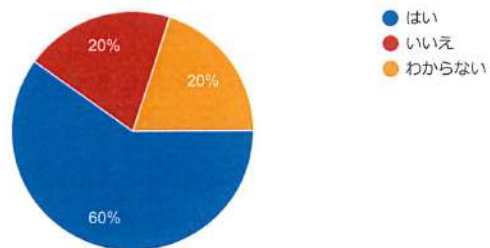
『事業運営に関する自己評価表』 職員用 岸根店

分析を公開

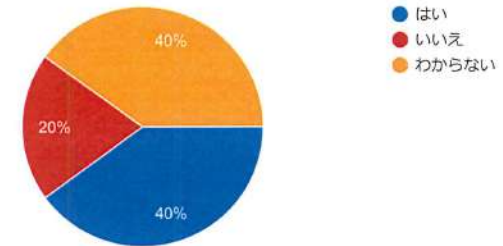
利用定員が指導訓練スペースとの関係で適切であるか



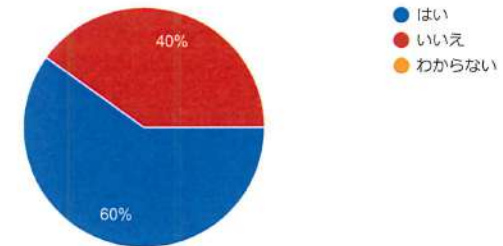
職員の配置数は適切であるか



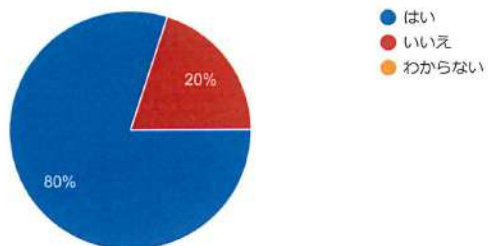
常時見守り等が必要な子どもに対する対応等を想定して、通常基準より 大きい指導員配置するの配慮がなされているか



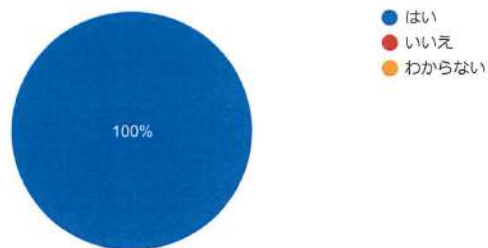
事業所の設備等について、利用者に応じた配慮が適切になされているか



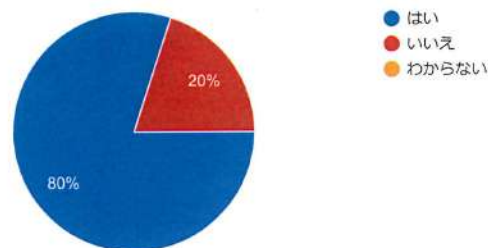
指導室内は個々の子どもの状態に配慮した環境調整がおこなわれているか



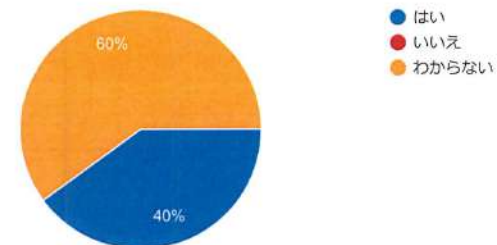
事業所内の安全対策が十分に取られているか



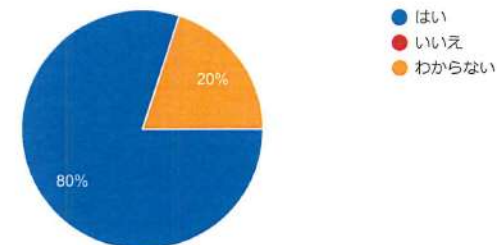
事業所内は常に衛生的な状態に保たれているか



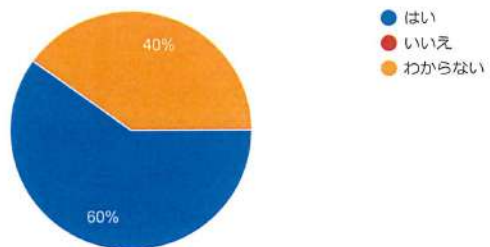
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員参画しているか



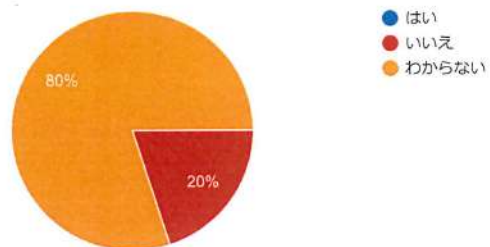
保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか



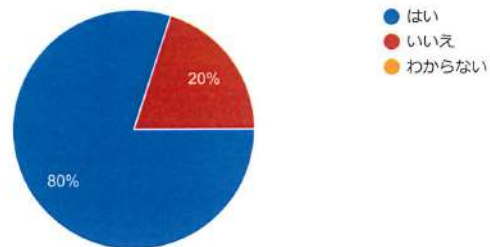
自己評価の結果を、事業所ホームページ等で公開しているか



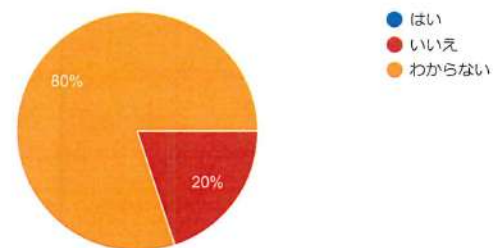
第三者による外部評価をおこない、評価結果を業務改善につなげているか



職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保しているか

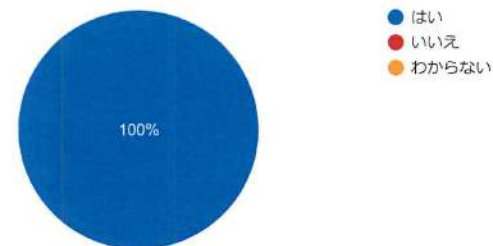


事業所内でスーパーバイズ等を受ける体制を整えているか

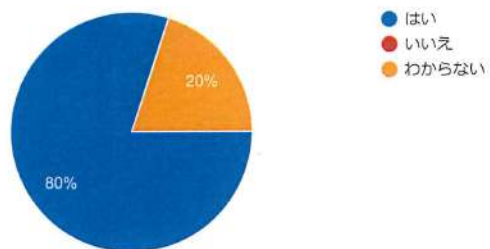


アセスメントを適切におこない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか

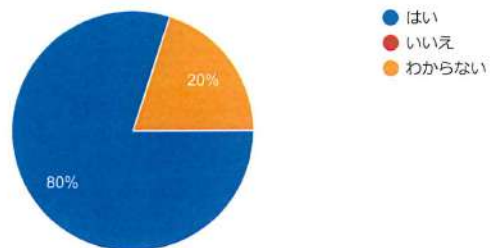
5件の回答



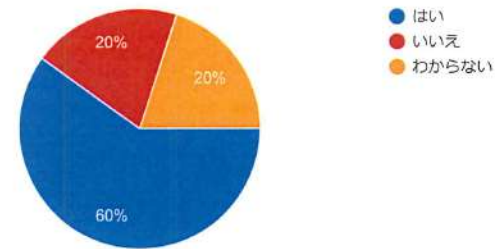
子どもの状態を把握するため、また支援に対しての進捗を把握するために、統一したアセスメントツールを継続的に使用しているか



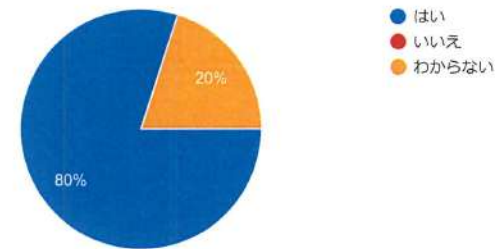
子どもに応じたプログラムを立案できるよう、必要に応じてチームもしくは複数名の職員で検討しているか



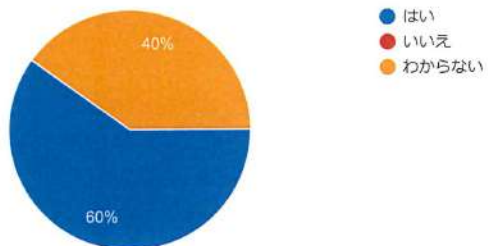
子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫（固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等）しているか



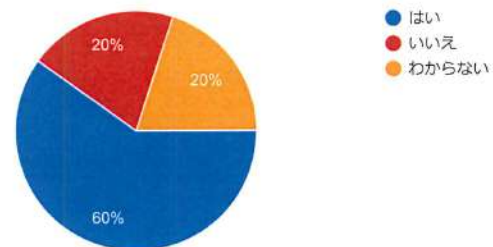
子どもの生活環境等に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか



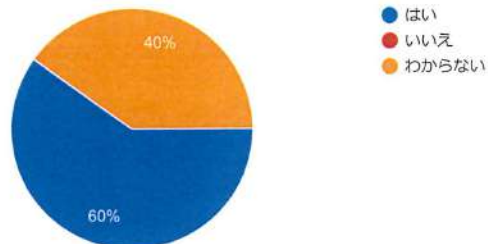
子どもの状況に応じて、個別、集団による支援を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか



ガイドラインの総則の基本活動（自立支援と日常生活の充実のための活動・創作活動・地域交流の機会の提供・余暇の提供）を複数組み合わせた視点から、計画的に支援を行っているか

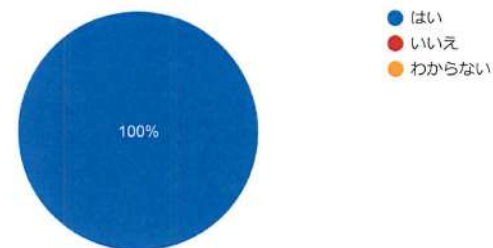


子どもの状況に応じて、家族支援、地域連携等の環境へのアプローチの視点を持って個別支援計画を作成しているか

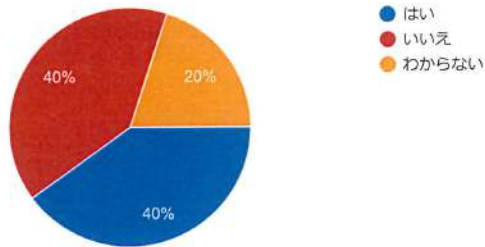


支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

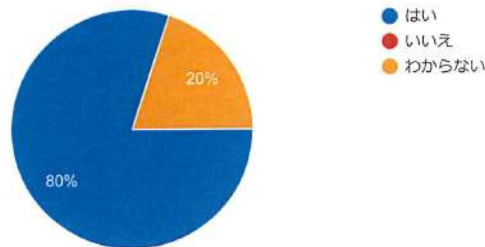
5件の回答



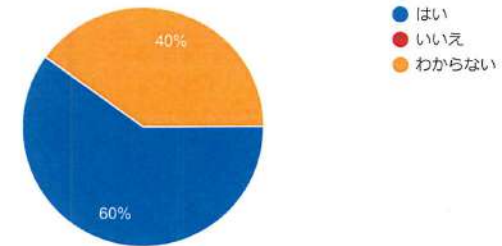
支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか



日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

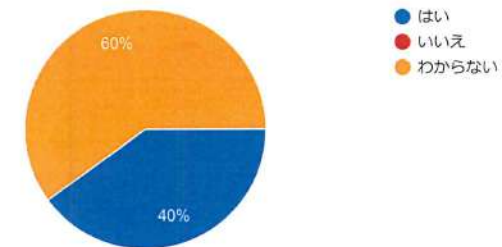


障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの発達障害の状況に精通した最もふさわしい者が参画できているか

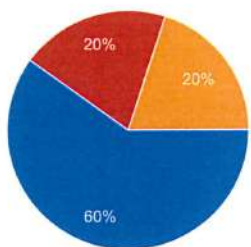


自事業所より以前から利用している教育機関等（就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等）との間で情報共有と相互理解に努めているか

5件の回答

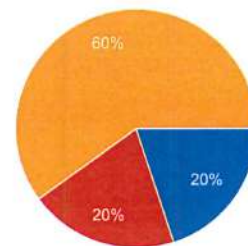


子どもが利用している保育園・学校との情報共有、連絡調整を適切におこなっているか



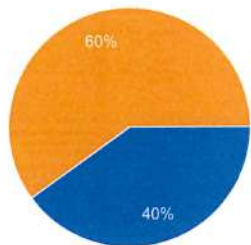
● はい
● いいえ
● わからない

事業所外の専門機関・専門家等と連携し、助言や研修を受けているか



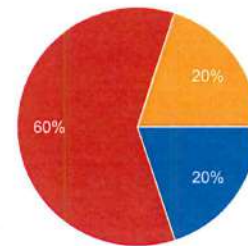
● はい
● いいえ
● わからない

事業所内スタッフでの対応が難しい身体合併症等により医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、主治医等から意見を確認する等その対応方法について具体的に協議されているか



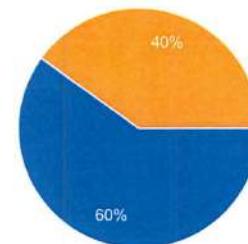
● はい
● いいえ
● わからない

放課後児童クラブ、児童館の利用等、地域での他の子どもと活動する機会に対する支援をおこなっているか



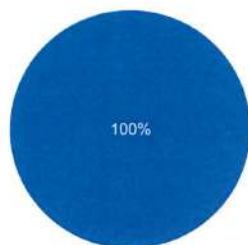
● はい
● いいえ
● わからない

(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか



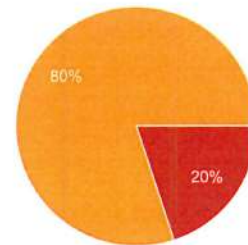
● はい
● いいえ
● わからない

日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか



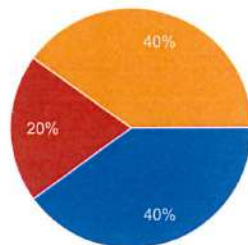
- はい
- いいえ
- わからない

保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援に関して情報提供等をおこなっているか



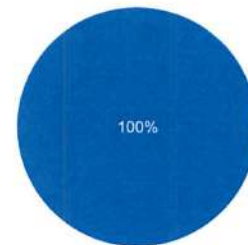
- はい
- いいえ
- わからない

保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援をおこなっているか



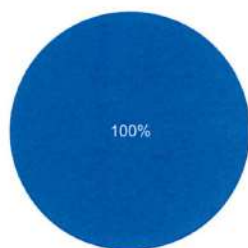
- はい
- いいえ
- わからない

運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明をおこなっているか



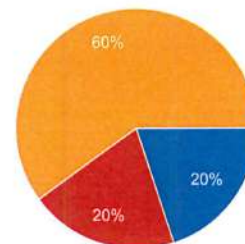
- はい
- いいえ
- わからない

保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか



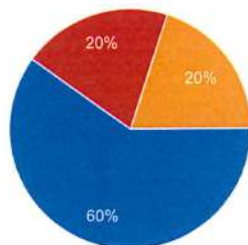
- はい
- いいえ
- わからない

父母向けの座談会・保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか



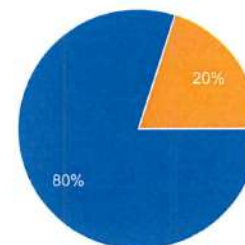
- はい
- いいえ
- わからない

保護者からの相談対応の状況に応じて、適切な他機関・他サービスにリファーする、もしくは情報提供等を行っている



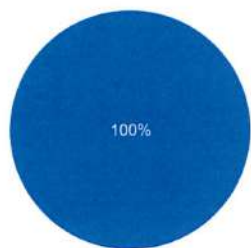
- はい
- いいえ
- わからない

子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか



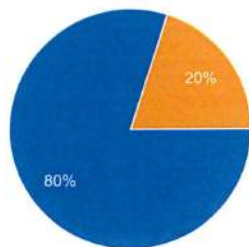
- はい
- いいえ
- わからない

定期的に活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか



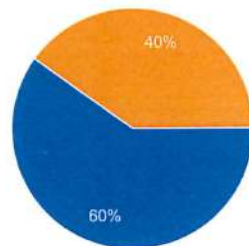
- はい
- いいえ
- わからない

個人情報に十分注意しているか



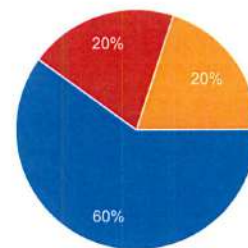
- はい
- いいえ
- わからない

子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための合理的配慮をしているか



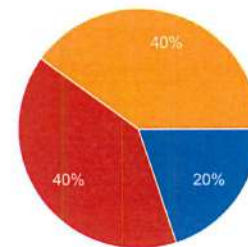
- はい
- いいえ
- わからない

サービス提供中の子どもの様子を保護者が把握できるよう努めているか



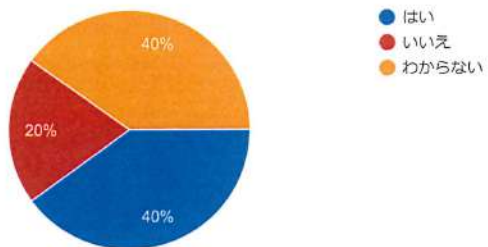
- はい
- いいえ
- わからない

地域住民、地域の関係機関に協力いただいて事業所の行事を行う、など地域に開かれた事業運営を図っているか

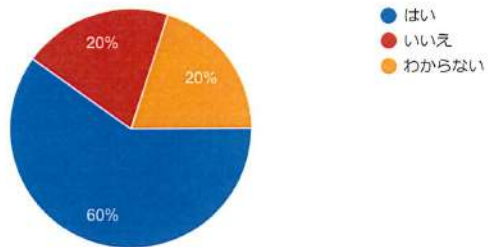


- はい
- いいえ
- わからない

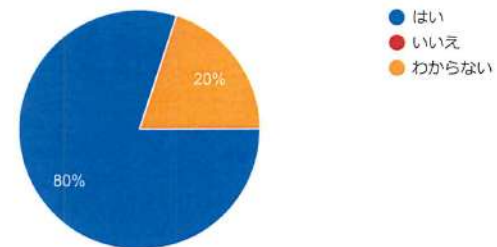
リスク管理マニュアル、衛生管理マニュアル、災害時の対応方法等について策定し、職員や保護者に周知しているか



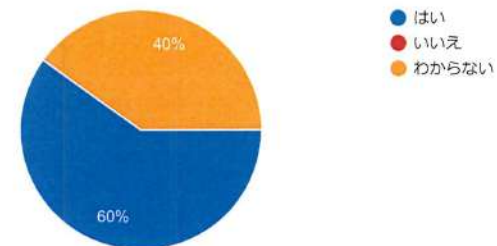
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか



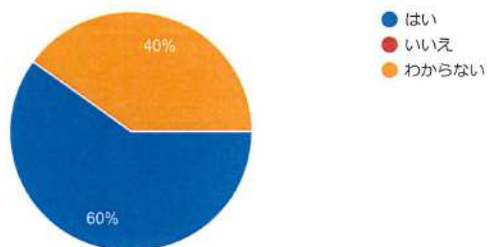
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか



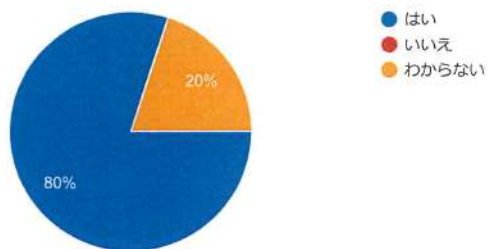
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、保護者に利用契約時に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画にも記載しているか



アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか



ヒヤリハット事例について、その改善策を検討し、報告書を事業所内で保管、ヒヤリハット事例の内容について周知共有しているか



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム



・A環境面

職員やドライバーの職員も多く、活動を充実して行えている。

入口に消毒設置、検温、換気等の対策をして、感染予防に努めている。

・B児童への支援内容

支援計画を確認して、対応している。

内容も保護者と日頃から相談して決めている。

・C関係機関との連携

Bの内容に関しても必要に応じて学校の先生と会議を行ったり、区の連絡会等で連携を行っている。

・D保護者への説明責任・信頼関係

連絡帳にて活動内容の記載、LINEでの対応等も行っている。

Instagramにて活動の発信を画像と文章にて公開。

・E非常対応

月ごとに避難の内容を変え、行っている。

・A環境面

外出が出来る環境があり、色々な場所に連れて行ってくれる。

手洗いや消毒がされているのか見学機会がないので、分からない事と見えない部分が多い。

・B児童への支援内容

個人の必要な支援をしてきている。

活動の楽しさ満足している。

コロナの状況を見て、料理の活動もやってほしい。

運動系の活動を増やしてほしい。

・C事業所からの情報発信

活動予定が決められていない。

避難訓練等、家で予習復習が出来る活動だけでも事前に知りたい。

SNSでの発信がうれしい。

・D非常対応

事前の実施日の連絡が欲しい。

事業所内での分析

【共通点】

環境においては、満足の内容だと思われるが、周知・発信できていない部分も多い。

支援内容は、現在の状態での満足を得られている事が多い。

コロナ禍の環境における活動の縮小についてのご理解は得られている。料理・外食活動等

【相違点】

活動内容の事後報告はしていたが、事前の活動内容の連絡等が不足している。特に月や週ごとの活動内容について。

コロナ禍で、面談や所内見学、直接話をする機会が減っていて、細かい部分の認知をお互いできていない部分も多く、分からないにほとんど入れざるを得ない点がある。

分析・検討してみて…

事業所の強み

活動内容や支援内容についての楽しさ・正確さは、満足いただけている方が多い。
事業所としても家や学校でなく、放課後デイサービスでしか出来ない事と役割を意識して行っている。
活動後の発信は、どんな事をどんな様子で行っているか分かりやすく、連絡帳も合わせて、伝わりやすいように工夫している。

事業所の改善点

予定に関して、事前に月や週ごとの連絡。
防災訓練の事前連絡の通達がない。
ウォーキングは頻繁に行っているが、他の運動や内容の幅が少ない。
コロナ禍というもあり、こまかな消毒や換気、検温などの対策の部分であったり、実際に見ないと分からない事などの周知する機会が少ない。

事業所の改善への取り組み

防災訓練の事前通達を行う。
コロナの感染状況を見つつ、活動場所・活動内容等検討していく。
ウォーキングは、みんなが出来る。みんなが活動出来る。日常に活かせる。今後の通学通勤等での活用。どこでも行えるなどの利点からよく行っていたが、それ以外の内容の頻度や充実を検討する。
活動内容等の事前、事後の発信について、おおまかに変更がなく、分かる範囲で通達出来るよう意識していく。

～自己評価を行い、事業所としての感想など～
活動内容に関する事で良い評価を多くいただいた事に私たちも嬉しく思います。
コロナ禍という環境下における活動縮小や活動内容・環境等の周知の縮小に関する影響がどうしても出てきてしまう部分を感じる。
事前に予定を決めて、保護者様にお伝え出来ればと思いますが、コロナ禍における欠席者増加の規模縮小による変更や児童の状況等による予測が難しく、出来る範囲でお伝えできればと認識している。

事業所名 Be-NEXT岸根店

担当者 杉谷 圭介